





令和7年 **4**月の大阪**森林**便り

目次

3月の木の話 向きによって熱に対する性質が異なる木材

- (1)  国産針葉樹合板 3%上昇 3月間屋卸
- (2)  森林資源の循環利用で、明るい未来へ
- (3)  北米産木材 2%上昇 対日 4~6月 米関税前駆け込み需要
- (4)  輸入木材在庫が急減 2月末 「ウッドショック」時並み



3月の木の話 向きによって熱に対する性質が異なる木材

*密度が高い木材のほうが熱伝導率は大きくてより熱が流れるので、より冷たく感じます。

*木材の熱伝導率は、木口面（丸太を輪切りにした面）のほうが柀目面や板目面よりも2~2.5倍も大きくなります。

*柀目面と板目面では、あまり差がありません。

*木材に触れたとき、最も冷たく感じるのは木口面です。

(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用)

- (1)  **国産針葉樹合板 3%上昇 3月間屋卸**

住宅向け在庫減/原料費を転嫁 着工不振 先行き不透明

*国産針葉樹合板の流通価格が、2か月連続で上昇しました。

*東京地区のメーカー出荷価格（問屋卸価格）は、2月に比べて3%上昇。

*2月も9か月ぶりに値上がり。

*コスト高要因の一つは丸太価格の上昇。

*メーカーの生産コストは2024年に比べて3割程度上がっているよう。

*運送費も2024年に比べ3割上がりました。

*1月末の在庫量は前月比2.5%減。

*木造住宅の着工は、1月に前年同月比で7.2%減りました。

(2025年3月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 森林資源の循環利用で、明るい未来へ

*戦後に植林された森林が 50 年以上経過し、木材として活用する旬の時期を迎えています。

*森林は伐って・使って・植えて・育てる再生型資源。

*光合成によって大気中の二酸化炭素（CO₂）を吸収しながら成長する木は、木材として建物となっても炭素を貯蔵し続けます。

*若い木ほどCO₂を必要とするので森林循環のサイクルに乗せることは重要です。

*予防保全の上でも森林の整備は重要といえます。

*2023 年の国産材供給量は 2002 年から倍増し、木材自給率も 18.8%から 43.0%に上昇しました。

*2021 年に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」は、木造の高層ビルや高層マンション、都市の木質化が推進される契機となりました。

*木材は調湿性や断熱性に優れ、香りによってリラックスさせる効果や集中力を高める効果もあります。

(2025 年 3 月 20 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 北米産木材 2%上昇 対日 4~6 月

米関税前駆け込み需要

*北米産木材の対日価格は、3 四半期連続の上昇。

*4~6 月期の価格は 1~3 月期に比べ 2%高。

*1~3 月期の 7%高との比較では上昇幅は縮小。

*カナダでは丸太価格や人件費などの上昇傾向が続いています。

(2025 年 3 月 26 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 輸入木材在庫が急減 2 月末「ウッドショック」時並み

*輸入木材の在庫が急減しています。

*東京地区の 2 月末の在庫量は、「ウッドショック」で供給が細った 2021 年 7 月以来の低水準。

*木造住宅着工の不振で、商社が調達を絞ったことが背景に。

*在庫量は 1 月末に比べ 8%少なくなっています。

(2025 年 3 月 28 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)